



遺伝子検査で新しいがん予防！

サインポストがん遺伝子検査

大阪大学医学部発！

信頼

✓ サインポストがん遺伝子検査とは

サインポストがん遺伝子検査は、「どんながんになりやすい遺伝子を保有しているのか」、「がんの発症予防には、どのようなライフスタイル・食生活が適しているのか」を知ることが出来る遺伝子検査です。男性：12項目、女性14項目を測定します。あなたにとってハイリスクのがんを明らかにするとともに、がんのリスクを下げる生活習慣や、がんの早期発見に役立つ検査を紹介する詳細なレポートをお返します。



*1 女性のみ測定 *2 男性のみ測定

価格 60,500円 (税込)

このような方におすすめです

- がんのリスクを知りたい方
- **健康**に気を付けている / 最近、**健康**が気になりだした方
- ご家族や近親者に**がんになった**方がいらっしゃる方

22,000円OFF

2点セット 110,000円⇒88,000円

検査結果は、詳細なレポートでご報告致します。

【検査の目的】
体の様々な臓器のがんは、がんになりやすい性質（遺伝子リスク）のがんが、早いうちに生活習慣を継続することにより、がん細胞が年々の発症を繰り返していき、発病したとされていきます。がんの発症にはさまざまな原因があり、家族性のがん以外では発症しやすい生活習慣や血液検査だけでは診断することは困難です。今知ったがん遺伝子検査は、特にアジア人に多いとされる12種類のがんの「がん発症しやすくなる遺伝子」を解析し、あなたにとってハイリスクのがんを明らかにするとともに、がんのリスクを下げる（生活習慣）を提案するものです。生活習慣の改善以外にも早期発見を目指す検査もお返します。

【あなたのがんのリスクとがん早期診断の検査と頻度一覧】

	肺がん	大腸がん	膵臓がん	胆のうがん	肝臓がん	腎臓がん	脳腫瘍	乳がん	子宮頸がん	卵巣がん	前立腺がん
要 注 意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
注 意	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
平均的	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

●: あなたの遺伝子リスクから見た発症リスクが平均的より高い
●: あなたの遺伝子リスクから見た発症リスクが平均的より低い
●: あなたの遺伝子リスクから見た発症リスクが平均的より低い
●: あなたの遺伝子リスクから見た発症リスクが平均的より低い

遺伝子から見たあなたのリスク（注意レベル）は

食道がん 要注意レベル

あなたの食道がんのリスクは高めです
あなたは食道がんになりやすい遺伝子を多く保有しています。

● 注意すべき人
食道がんの原因は遺伝子と飲酒やタバコ、または食道粘膜を刺激する熱い食べ物、冷たい食べ物、辛い食べ物、揚げた食べ物です。これらをよく摂取する人は注意が必要です。

● 生活習慣
飲酒、タバコ、食道粘膜を刺激する熱い食べ物、冷たい食べ物、辛い食べ物、揚げた食べ物の摂取を控えることをおすすめします。

● 検査
早期発見のために定期的な検査（胃カメラ、胃内視鏡検査）をおすすめします。

注意すべき 生活習慣 注意すべき 感染 / 疾患

酒 喫煙 熱い食べ物 辛い食べ物 揚げた肉・魚

測定遺伝子（食道がんに関連する遺伝子）

遺伝子検査 PARP1	がん転移 MMP2	解毒 NQO1
がん増殖 AURKA(1) PTGS2(1) AURKA(2) PTGS2(2) MTHFR(1) GSTP1(1)	アルコール ADH1B ALDH2	

説明

●患者数
2018年の食道がんの患者数は、男性1万9000人、女性3400人です。

●症状
食道がんの早期は自覚症状がほとんどありません。がんの進行とともに、飲食の違和感、胸や背の痛み、せき、声のすぶり、などの症状が現れます。

アドバイス

節度を心がけましょう
あなたは飲酒により食道がんのリスクを高める「ADH1B遺伝子」を保有しています。節度を心がけましょう。食道がんの早期発見のために定期的な胃カメラ検査をおすすめします。

揚げた食べ物に注意
あなたは食道がんを悪化させる揚げた食べ物、食道がんの発症リスクを高める「GSTP1(1) INQO1」遺伝子を保有しています。これらの摂取を控えることをおすすめします。

食道がんリスク低減に緑黄色野菜
あなたは、遺伝子が影響される揚げた食べ物、食道がんの発症リスクを高める「MTHFR(1)」遺伝子を保有しています。緑黄色野菜の摂取はこの遺伝子の働きを適正化するため、摂取をおすすめします。

●検査法
お酒で顔が赤くなる体質の人は食道がんに注意！
お酒で顔が赤くなる体質ですが、このタイプの人は食道で食道がんになりやすいと知られています。この体質で、2倍以上のお酒のみ、かつヘビースモーカーの方は3.4倍も食道がんになりやすいと知られていますので、注意してください。

測定結果より、各がんリスクを3段階で評価いたします。部位別に推奨される検査やその頻度を一覧にてお返します。

各がんの判定結果ページには、保有遺伝子と注意すべき生活習慣・感染/疾患を表示しています。

各がんの患者数や症状の説明、測定遺伝子解析結果に基づいたアドバイスを記載しております。

Q. がんリスク検査とはなんですか？

今現在の疾患の有無(ガンの有無)を明らかにする通常の検査とは異なり、疾患の早期発見や、将来的な危険度を予測する検査です。生活習慣改善などの予防のきっかけに役立ちます。

Q. 検査に食事制限などはありますか？

制限はありません。食前や食後に影響なく受検頂けます。

Q. どのくらい採血するのですか？

2mlの採血で検査ができます。

Q. 将来、どのがんになるか分かりますか？

いいえ。この検査では、がんを起こしやすくする遺伝子などを解析することで、ご自身にとってハイリスクのがんを明らかにしています。発症を確定させる、「がん原因遺伝子」を測定するものではありません。

Q. 過去にがんになったことがあるが、受検してよいですか？

受検は可能です。ただし、既往歴のあるがんが、必ず「要注意」の判定になるわけではありません。一生変わらない遺伝子型を測定する検査ですので、再発予防を目的とした受検はお控えください。

Q. この検査はどのくらいの頻度で受ければよいですか？

この検査は、一生変わらない遺伝子の型(SNP)を測定している検査ですので、一生に一度の検査となっております。

Q. 結果が要注意のがんについては、どうすればよいですか？

報告書の最初のページにある早期発見に役立つ検査を次回以降の健診・人間ドックで受検することをおすすめします。また、日頃の生活習慣のアドバイスも参考に、予防に努めることも重要です。

Q. 結果が平均的ながんは、かかる可能性が低いということですか？

いいえ。あくまで保有する遺伝子の型が、平均的であるということです。がんは生活習慣によっても発症しますので、日頃の生活習慣や食事などを意識して取り組まれることをおすすめします。